

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	4 節 障害者福祉	H20 実施計画事業費合計	3,356,081 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 参加と協働の促進	105,045 千円		
		2 福祉施策の充実	3,215,371 千円		
		3 雇用・就労の充実	35,665 千円		
			千円		
		千円			
施策に係る所属	障害福祉課、子ども支援課、福祉総務課、松原学園、成人保健課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○地域で障害のある人とないない人との交流の場づくりを支援する。 ○地域で安心した生活が送れるように、多様なニーズに応じた施策の展開に取り組む。 ○障害者の社会的自立に向けて、障害特性に応じた就労支援体制を、さらに充実する。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○参加と協働の促進 障害者への理解を促進する機会を充実するとともに、ボランティアなどへの市民参加を促し人材の確保を図る。また、障害者の社会参加が進むようガイドヘルパーなどの充実に取り組む。 ○福祉施策の充実 必要な情報の提供や相談体制の充実に取り組む。また、在宅でのサービス充実に取り組むとともに、自立を促す施設サービスの充実に取り組む。 ○雇用・就労の充実 ハローワークや就労支援センターなどとの連携により、就労に係る相談体制の充実や雇用機会の拡大を図る。
	3) 分野別計画、指針
	○所沢市障害者計画

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策																								
	○5-6労働環境																								
	5) 施策に対する市民ニーズ																								
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。																								
	6) 施策に係る基礎数値																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市補助対象障害者団体数（各年度末）</td> <td>団体</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>身体障害者（1～6級）数（各年度末）</td> <td>人</td> <td>7,104</td> <td>7,269</td> <td>7,427</td> </tr> <tr> <td>知的障害者（最重度～軽度）数（各年度末）</td> <td>人</td> <td>1,264</td> <td>1,331</td> <td>1,374</td> </tr> <tr> <td>精神障害者（1～3級）数（各年度末）</td> <td>人</td> <td>1,007</td> <td>1,085</td> <td>1,188</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	市補助対象障害者団体数（各年度末）	団体	5	5	5	身体障害者（1～6級）数（各年度末）	人	7,104	7,269	7,427	知的障害者（最重度～軽度）数（各年度末）	人	1,264	1,331	1,374	精神障害者（1～3級）数（各年度末）	人	1,007	1,085
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度																					
市補助対象障害者団体数（各年度末）	団体	5	5	5																					
身体障害者（1～6級）数（各年度末）	人	7,104	7,269	7,427																					
知的障害者（最重度～軽度）数（各年度末）	人	1,264	1,331	1,374																					
精神障害者（1～3級）数（各年度末）	人	1,007	1,085	1,188																					

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
040333 障害者就労支援事業	年度中の就職者数	実績報告による	人	60	40	66.6	60

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】就労支援センター登録者の就職率 障害者の社会的自立がどの程度はかられたかを示す指標	%	年度	目標値	54.1	55.6	57.1	58.5	60.0	年度
			実績値	55.5	58.1	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
		%	達成率	51.2	102.5%	104.5%				60.0
			年度	目標値						年度
		%	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
%	年度	目標値						年度		
	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値		
%	達成率									
	年度	目標値						年度		
%	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値		
	達成率									

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
登録者増加や軽度発達障害者への支援を図るため、ところざわ就労支援センターへ常勤職員1人分を加配し、事業の充実に努めた。

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
精神障害者の就職受入れ先の確保が難しい状況となっている。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
ハローワークの企業に対する行政指導や障害者雇用促進法の改正を受け、企業の障害者雇用が広がりを見せている。しかしながら多様な雇用状況のなか、1年以内に離職するケースも出ている。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標）	2) 平成20年度における目標設定						
方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>今期目標項目(何を)</th> <th>達成水準(どこまで)</th> <th>時期(いつまで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者雇用の広がりがから支援希望者も増加傾向にある。年度末就職者数の増加(対前年度比)を目指す。</td> <td>対前年1割増とする</td> <td>年度末</td> </tr> </tbody> </table>	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	障害者雇用の広がりがから支援希望者も増加傾向にある。年度末就職者数の増加(対前年度比)を目指す。	対前年1割増とする	年度末
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)				
障害者雇用の広がりがから支援希望者も増加傾向にある。年度末就職者数の増加(対前年度比)を目指す。	対前年1割増とする	年度末					
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）							

<p>障害者自立支援法の施行に伴い、地域生活での基盤整備と就労による自立支援を中心とした施策への転換によって新たな取り組みが必要となっている。特に、障害者の地域での日中活動の場としての通所施設、小規模作業所等や居住の場としてのグループホーム等の施設整備、並びに就労・相談・生活支援等の充実を図るとともに、第二次障害者計画と第二期障害福祉計画に施策の展開を明確にしていくことが求められている。</p> <p>具体的な就労支援については、障害者施設、企業、ハローワーク、養護学校、市等との関係機関によるネットワークを深め、障害者の就労に関する情報を共有し、就職者数の増加に努めていくものである。</p> <p>なお、課題となっている職場定着をより促進するために、就業面だけでなく生活面にいたる支援を相談支援事業所や関係機関と連携し支援をしていくことも必要である。また、定期的な職場訪問に加え、日頃から就業についての相談なども受け積極的にコミュニケーションを図ることも重要である。</p>	
評価日 平成20年8月1日	記入者職氏名 保健福祉部次長 梅田 実

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	4 節 障害者福祉	H20 実施計画事業費合計	3,356,081 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	2 福祉施策の充実	3,215,371 千円		
		3 雇用・就労の充実	35,665 千円		
			千円		
			千円		
施策に関係する所属	障害福祉課、子ども支援課、福祉総務課、松原学園、成人保健課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的	<p>○地域で障害のある人とないない人との交流の場づくりを支援する。</p> <p>○地域で安心した生活が送れるように、多様なニーズに応じた施策の展開に取り組む。</p> <p>○障害者の社会的自立に向けて、障害特性に応じた就労支援体制を、さらに充実する。</p>
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法	<p>○参加と協働の促進 障害者への理解を促進する機会を充実するとともに、ボランティアなどへの市民参加を促し人材の確保を図る。また、障害者の社会参加が進むようガイドヘルパーなどの充実に取り組む。 ○福祉施策の充実 必要な情報の提供や相談体制の充実に取り組む。また、在宅でのサービス充実に取り組むとともに、自立を促す施設サービスの充実に取り組む。 ○雇用・就労の充実 ハローワークや就労支援センターなどとの連携により、就労に係る相談体制の充実や雇用機会の拡大を図る。</p>
	3) 分野別計画、指針	○所沢市障害者計画
	4) 関連・類似施策	○5-6労働環境
	5) 施策に対する市民ニーズ	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。

③ 優先的に取り組む事業	6) 施策に係る基礎数値					
		項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		市補助対象障害者団体数（各年度末）	団体	5	5	5
		身体障害者（1～6級）数（各年度末）	人	7,104	7,269	7,427
		知的障害者（最重度～軽度）数（各年度末）	人	1,264	1,331	1,374
	精神障害者（1～3級）数（各年度末）	人	1,007	1,085	1,188	

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
	040333 障害者就労支援事業	年度中の就職者数	実績報告による	人	60	40	66.6	60
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。								

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】就労支援センター登録者の就職率	障害者の社会的自立がどの程度ははかられたかを示す指標	%	年度	目標値	54.1	55.6	57.1	58.5	60.0	年度
				実績値	55.5	58.1	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
				達成率	102.5%	105.4%				60.0	
	年度	目標値							年度		
	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値				
	達成率										
	年度	目標値							年度		
	実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値				
	達成率										
年度	目標値							年度			
実績値	実績値	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2				目標値					
達成率											

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み	児童デイサービス事業に指定管理者制度を適用したが、一般公募によらない方法として選定委員会に諮った。
--	---

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	障害福祉サービス利用者自己負担（原則1割）を、補助し利用者の経済的負担の軽減を図った。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	児童デイサービス事業において指定管理者制度を適用する。	次の契約更新について速やかな更新を実施する。			年度末
	障害福祉サービス利用者負担金補助事業において、平成20年7月から利用者負担金月額上減額の軽減措置が実施されたため、要綱改正を行う。	法の適用の範囲により、適正な負担金補助を行う。			年度中
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）					
障害者自立支援法の施行に伴い在宅の障害児に対する市独自の施策として「障害福祉サービス利用者負担金補助事業」を平成19年度から実施していたが、平成20年6月27日交付政令(平成20年政令第212号)により、市民税所得割額に従って利用者負担金月額が軽減されることとなったことから、当該事業の要綱改正を行うとともに、利用者に理解を求めていく。障害者自立支援法は施行以来3年目を迎え、今後大きな法改正が予測されることから、情報収集に努めるとともに、法改正に向けた対応を速やかに実施していくものです。また児童デイサービス事業の適正な運営を図るため、指定管理者制度への速やかな移行を果たすことが肝要である。					
評価日	平成20年8月1日	記入者職氏名	保健福祉部 参事 黒澤 潤子		